

終業式 運動部副部長 川端春香

4月には新入生を向かえ、新2年生は先輩となり新たな自覚が芽生えると思います。新3年生は「引退」と言う言葉が浮かび、今までの積み上げてきた事の集大成の時期に入ります。部活動で悔いの残らないように、春休みを怪我の無い様に乗り切り、最後まで全力でやり抜きましょう。新たな学年、お互いに切磋琢磨し大きく成長しましょう。



Mottainai くつプロジェクト

ご協力ありがとう 307足のプレゼント

2月中旬から行っていたこのプロジェクト、皆さん協力、特に卒業生の協力のおかげで合計307足集まりました。答案返却日にインターアクトのメンバーが数えて箱詰めし、通関申告書まで記入してくれました。15日に無事フィリピンに向けて発送しました。到着は3ヵ月後になります。前回送った分を現地で配っている様子を4月にご報告いたします。寄付してくれた皆さん、インターアクトの皆さん、ありがとうございました。寺田祐二



中学男女 硬式テニス 第9ブロック研修大会

3月19日、明星テニスコートで第9ブロック研修大会決勝ラウンドが行われた。予選を勝ち上がった1年男子、第1シードの成蹊中と対戦、大谷・友常ペア、草野・長泉ペア、杉浦・坂巻ペアが全国を経験する相手チームに臆することなく挑戦、激戦を繰り広げた。結果は敗戦だったが次こそはと心の底から闘志がふつふつと湧き上がってくるようだった。

優勝候補筆頭と前評判の高かった2年女子、まさかの準決勝敗戦、相手を追い詰め、あと一歩と言う所で勝負弱さ・詰めの甘さが出てしまったように見えた。しかし、この敗戦を引きつらず3位決定戦を制して3位となった。猪狩監督は「良い勉強、全てが勉強、毎日が真剣勝負です」と選手をいたわり、励まし、鼓舞するように話された。1年女子は準々決勝で明大明治中と対戦、溝口・栗田ペアが勝利、1対1で迎えた最終試合、磯沼・奥山ペアがまさかの試合展開、プレッシャーなのか0-3と追い詰められ誰もが「もう駄目か」と思われた場面から大逆転、5ゲーム連取で薄氷を踏む勝利を手にした。準決勝は東村山五中と対戦、井上のサーブが見事に決まるなど、危なげない試合運びで全勝で決勝戦へ駒を進めた。決勝戦は府中三中、テニスコートに照明が点灯、ボールが見えにくくなる中で野口・田村ペアが1勝、続く溝口・栗田ペアが惜敗、最後の奥山・関口ペア、関口の高速サーブと粘り強いラリーで白熱した試合展開も一歩及ばず惜敗、準優勝となった。林コーチは試合後、「悔しい敗戦、あと一歩だった。全員が成長している姿を見る事ができた。次は絶対勝ってほしい、多くの事を学んだ研修大会だった」と言葉を詰まらせながら話された。選手と共に戦い、選手をサポートしてきたコーチの言葉は聞く者の胸を熱くした。ありがとう。と声が聞こえた。

中学 スキー 2017 南関東ユーススキー選手権

3月18日～20日、菅平高原パインビークおおまつスキー場で2017南関東ブロックユーススキー選手権大会が行われた。南関東の中学生トップレベル150人が参加した。明星から1年、高橋駿太、2年、萩原遼、安藤謙真、村上孔介、草野龍輝が戦いに挑んだ。19日、回転競技が行なわれた。早朝マイナス7度、一日中アイスバーン、コースコンディションは良好、スピードの出るコースにコースアウトする選手が続出、高橋67位、草野85位、村上100位で完走。安藤・萩原は1年生ながら果敢に攻めの滑りを見せるが途中コースアウトとなった。20日は大回転が行なわれ、高橋61位、草野83位、安藤94位、村上97位、萩原98位の結果となった。夏ひたすら走り、雪降る季節を待つ、強い思いを胸に秘め。

高校男女 ハンド 全国直前、練習試合

3月20日、明星メインアリーナで埼玉県1位の浦和実業と男女で練習試合を行った。浦和実業は男女全国大会出場、全国大会直前最後の練習試合となった。男子は1勝1敗、オフェンスもディフェンスもいろいろ試した。気合も充実、仕上がり上々と言って良いだろう。キャプテンの大木も「全国で頑張ってきます」と胸を張った。出発は22日、健闘を祈る。女子は2戦して2敗だったが全て僅差、3点差と4点差、埼玉1位と互角の試合展開、キャプテン白井とGK佐藤が堅い守りで試合を作った。こちら春に向けて上昇気流に乗る！！

高校男子 バスケ 審判講習会&練習試合

3月19日、明星サブアリーナで中体連審判講習会が行われ、高校11校がモデルゲームを行った。明星は共栄学園・東海大菅生・八王子実践と対戦。20日は都立小山台・拝島・東大和と練習試合を行った。キャプテンの白鳥は「春季大会の組合せも決まり目標に向かってももっともっと頑張らなくてはいけないと思います。声を出して走りこみます」と胸を張る。

高校男女 バドミントン 練習試合

3月18日、明星第2体育館で大成高校と練習試合を行った。団体戦は男子3勝、シングルス大久保、貫祿のストレート勝ち、第2ダブルスの岸田・福地ペア、1セットを落とし、2セットも追い込まれるがタイブレークに持ち込み22-20で粘り勝ち、3セットもそのままの勢いで勝利した。女子は2勝1敗で勝利した。第1ダブルスの森山・齊藤ペアが実力を発揮勝利、川村もシングルスで2-0で取り勝利した。個人戦は46試合行い34勝。中学の児玉・新井も参戦、高校生からアドバイスをもらい勝利、笑顔で小さくガッツポーズ、高校生を相手に大きな自信となった。春に向けて良いスタートを切った。春咲く花は大きいぞ。



アシスト 誰かのために

【Assist】 手伝う、援助する。サッカーやバスケットボールなどで、適切なパスを送って味方選手にシュートの機会を与え、得点を助けるプレー。また、それを行った選手を言う。チームに貢献、チームの為に、自分を犠牲にしてパスを出す。取りやすいパスを丁寧に、クラブ活動で毎日練習しています。4月になって新入生を向かえます。新入生をアシスト。仲間にもアシストされた1年間、感謝の気持ちを忘れずに、今度は君が誰かの為にアシスト!!

